



心れあいネットワーク



広島市社会福祉協議会

〒730-0052 広島市中区千田町一丁目9番43号  
広島市社会福祉センター内 TEL (082) 243-0051代表  
広島市ボランティア情報センター直通  
TEL (082) 544-3399 FAX (082) 544-3404

URL <http://shakyo-hiroshima.jp/>

E-Mail: [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)

2009.3 No. 21

あわないために、あやしい手紙が届いた時には、一人で判断せずに警察に相談することや、訪問販売で高価な布団を断りきれず購入した場合等は、クーリング・オフを活用して対応すること、万が一詐欺等の被害にあったときには、一人で抱え込まずに警察や消費生活センターへ相談すること等を学びました。



- 督促金額が入ってない、葉書で届く督促状は無視して大丈夫
- 封書で届いた督促状は警察や消費生活センターに相談を

消費者啓発芸人 ストッパー・カシワギさん  
(広島修道大学商学部商学科准教授 柏木信一氏)

- ただほど怖いものはない (=おいしい話には必ず裏がある)
- 契約を急がせるものほど怪しいと思え!
- 怪しいと思ったら、自分で抱え込まずに誰かに相談しよう



広島市市民局消費生活センター  
主幹 中川 浩氏

広島市消費生活センター  
場所: 広島市中区基町6-27  
アクア広島センター街8階  
電話: 082-225-3300  
(消費生活相談専用)

被害に遭ってしまったら  
110番通報(相談番号は#9110)



「安全・安心」をテーマにした学習会を3月1日に開催しました。当日は、広島県警察本部及び広島市市民局消費生活センターの方からお話をいただいたのですが、「悪質商法に関する相談窓口は警察」に「訪問販売等の契約トラブルに関する相談窓口は消費生活センター」と、お互いが連携して対応していることを初めて知りました。

また、振り込め詐欺に



手口を知って防ごう詐欺を!



広島県警察本部生活安全企画課  
減らそう犯罪情報官 棟杉 孝氏



安心・安全な暮らしのために  
悪質商法・契約トラブルを防ぐためには?



# ヤングボランティア 交流研修会



「どうすれば活動が長続きするか、どうすれば一緒に活動する仲間を増やせるか」そんなことを一緒に考え、解決のヒントを見出すため、前回同様NPO法人ひろしまレクリエーション協会綱島一に会長を講師に招き、グループディスカッションやゲームを織り交ぜたヤングボランティア交流研修会を開催しました。



## 若者力向上で地域を元気にしよう!

各区ヤングボランティアスクール参加者や、すでにボランティアグループを結成し、活躍している青年達が集まり、「若者力の創造にむけて」をテーマとした交流研修会。参加者の殆どが初対面であるため、緊張感が漂っていましたが、緊張ほぐしのゲームなどを行うにつれ、次第に強張っていた頬も緩み、笑顔がこぼれてきました。その後、グループに分かれ、テーマに沿ったプログラムの組み立てに着手しました。手始めにSWOT分析を行い、それぞれの「強み・弱み・機会・競合」を書き出し、自分の現状の姿を把握しました。



### 「四画面思考のグループ例」

<p><b>② ありたい姿(目標)</b> 世のため、人のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なボランティアができる人になる。</li> <li>人に影響を与えられる存在。</li> <li>相手の目線に立って見る。</li> <li>すぐに行動する行動力を持つ。</li> <li>時間を有効に使い、ボランティアにどんどん参加。</li> <li>幅広い年代層の人と楽しくふれ合う。</li> </ul>	<p><b>③ なりたい姿(外的行動計画)</b> 自分のため、組織のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「相手の為」に快い態度で動ける。</li> <li>「あなたがいてよかった」と言われる存在。</li> <li>親切で人の支えになる人。</li> <li>みんなと仲良くする心優しい姿。</li> <li>自分から行動に移す。</li> <li>色々な人と交流する事ができる。</li> </ul>				
<p><b>① 現状の姿(自分を知る)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アルバイトに追われ、ボランティアをする機会が減っている。</li> <li>近所との交流がない。</li> <li>人との壁がいつもある。</li> <li>夢を持たない人が多い。</li> <li>マイペースだけど、自分の意志を主張できない。</li> </ul> <p>SWOT分析</p> <table border="1"> <tr> <td>強み</td> <td>弱み</td> </tr> <tr> <td>機会</td> <td>競合</td> </tr> </table>	強み	弱み	機会	競合	<p><b>④ 実践する姿(やってみること)</b> 日々の実践に向けての行動指針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔で挨拶をしたり、積極的に話しかけたり、接する。</li> <li>困っている人がいたら手助けをする。</li> <li>地域で挨拶隊などのボランティアグループをつくる。</li> <li>人の話をよく聞き、聞き上手になる。</li> <li>毎日挨拶をする。</li> </ul>
強み	弱み				
機会	競合				

さらに、「自分の現状の姿」を把握した上で、自分のありたい姿(目標)、なりたい姿(外的行動計画)、実践する姿(やってみること)をSWOT分析の手法と同様に紙面に書き出しました。この作業を「四画面思考」と呼び、プログラムを組み立てていく過程で大変重要になってきます。



参加者からは、自分が行っていることへの自信になった、学んだ事を実践に移したい、ワークショップが参考になったなどの感想をいただきました。

## ホームレス路上脱却・自立支援のための ボランティア養成講座

(社)広島県社会福祉士会に委託し開催

広島市内には現在約130名の方が、公園や街中で路上生活しておられます。たくさんの方を失った人たちが市民社会に戻っていくためには、市民ボランティアによる寄り添い支援が必要であると考え、本講座を開催しました。市民ボランティアとしての活動にむけ、ホームレス問題の社会的背景や人と人が助け合う関係を築いていくことについて学びました。

大規模な派遣切りの問題がクローズアップされたことが影響してか、当日の参加者は飛び込み参加の方もあり、38人となりました。実習参加者も例年より多く、今後の活動継続を期待しています。

座学	平成20年12月21日(日) 「現代の貧困をどう理解するか～経済の貧困と関係の貧困～」 講演:生田武志氏(野宿者ネットワーク) コーディネーター:広島県社会福祉士会 ホームレス支援委員会
実習1	夜回り活動から学ぶ
	くつろぎ入浴サービスから学ぶ
実習2	路上脱却・自立支援のための相談・同行から学ぶ (実習1で出会った方の相談活動に同行)
実習3	平成21年3月8日(日)「春よ来い」食事会に参加

# ボランティアコーディネーター養成講座

NPO法人ひゅーるぼん・まちづくり市民交流プラザと共催

## 基礎編

12月13日・14日開催



ボランティアコーディネーター歴3年未満の方を対象に開催し、初日はコーディネーターの概念や基本的なスキル(相談援助、対人援助技術)を学びました。

2日目は3つの分科会に分かれグループワークを行った結果「笑顔で対応する」「相手から学ぶ」「感性を磨く」等さまざまな気づきがあり、今後の活動に活かす糧となりました。



## 応用編

1月24日・25日開催

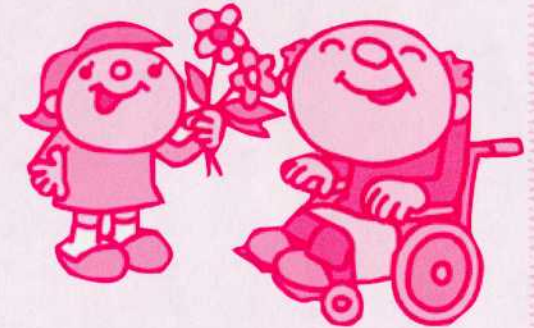


ボランティアと向き合うスペシャリストの養成を目的として開催。人間科学研究所の志賀誠治所長のファシリテートによる現状の課題抽出や「Wish Poem」づくり(いろいろな夢を出し合うこと)等を通して、参加者同士の相互作用が図られ、新たなネットワークの形成や人としての成長につながりました。



## 病院ボランティア交流会

広島市域の病院においては、多岐に渡るボランティア活動が進められています。しかし、活動する上で様々な課題があり、病院ボランティアの交流会を望む声が多く、平成18年度より交流会を開催しています。今年はボランティア19名、病院ボランティア担当者7名、社協職員14名、総勢40名の参加となりました。



ボランティアから  
担当者へ

☆ボランティアが同じ日に集中するというのもあるので、当番制にするなど分散して休めるようにできればいい。

☆ボランティア同士、ボランティアと担当者の話し合いや交流は大切だと思う。意見交換会や定期的な話し合いがもっと必要だ。

☆傾聴はどのボランティアでも必要となってくるので、傾聴の基礎的な講習が必要ではないかと思う。

担当者から  
ボランティアへ

☆ボランティアとの意見交換会、定期的な話し合いは大事だと思う。

☆ボランティアには感謝の気持ちでいっぱいである。

## 交流会を終えて

★病院による活動の違いや共通の課題などを話し合うことができたと思います。また、ボランティアと担当者もお互いを理解するためには話し合いや交流が必要であると思っていることがわかりました。

★病院ボランティアの周知・活動の推進が必要だと感じました。病院ボランティア養成講座もしくは研修会を平成21年度に開催したいと考えています。





当事者・ボランティア活動団体をご紹介します。

## 障害者と家族の暮らしと権利を守る広島連絡会

広障連は県内13の障害児・者の団体で構成され、障害者のライフステージの充実と権利を守る運動を行っています。一番の特徴は「要求運動」です。最近では障害者自立支援法の応益負担に反対して、県や市に負担の軽減を求めたり、重度障害者医療費の無料化を求める運動を他の団体とも協力してすすめています。

### [活動内容]

- 個人・団体の願いを要求化し、行政と交渉
- 学習と活動交流会
- 他の団体と協力して全県・全市的運動の展開

### [問い合わせ]

〒733-0002 広島市西区楠木町4-4-31  
榊 敏正方 広障連事務局  
TEL:082-230-0677 FAX:082-230-4125

## すみれ会

すみれ会は、昭和51年1月に広島市社会福祉協議会主催のボランティア養成講座の修了生が日赤・原爆病院の一人暮らしの患者さんの洗濯を一手に引受けて、33年間活動を続けています。

### [活動内容]

- 毎週木曜日(10:00~15:00)  
患者さんの衣類の洗濯・乾燥・配布
- 特別養護老人ホーム高陽荘で月一回買物と各種行事のボランティア
- 奇数月に例会を開催、会員の親睦と連絡

### [問い合わせ]

TEL:082-282-9068 繁政 秀子  
定例会:奇数月 月末(木曜日)

## ほのぼの広島会

私たちは、体の不自由な人たちが安心して気軽に外出できる街「ほのぼの都市」をつくるために地道に活動を継続しています。

### [活動内容]

- ほのぼの安心ツアー:障害者の皆様と、笑顔一杯の車いすツアーを開催しています。
- ほのぼの安心ボランティア:社会福祉協議会が募集するボランティア活動に積極的に参加しています。
- ほのぼの安心マップ:障害者用トイレマップを作って無料で配布しています。

### [問い合わせ]

〒730-0847 広島市中区舟入南2丁目7-1-402  
ほのぼの広島会事務局 田中 聡  
TEL:090-3270-2959 FAX:082-235-0437  
定例会:毎月第2土曜日 17:00~21:00  
(中区地域福祉センター5階)



## ボランティア情報センターより お知らせ

### サロンの模様替えをしました!

ボランティア・福祉に関する情報が沢山あります。

皆さん  
ご自由に  
ご利用下さい。



5月3日(日)~5日(火)

### フラワーフェスティバル ふれあいの広場 ボランティア募集!

フラワーフェスティバル開催中、ふれあい広場(パレード・ステージ・あそびのコーナー)でのボランティアを募集します。詳しくはボランティア情報センターまでお問合せ下さい。